

Course number		U-LAS06 20029 LJ43									
Course title (and course title in English)		現代経済社会論Ⅰ Contemporary Socio-Economic Theory I		Instructor's name, job title, and department of affiliation		Part-time Lecturer, KUROMIYA Kazumoto					
Group		Humanities and Social Sciences		Field(Classification)		Jurisprudence, Politics and Economics(Issues)					
Language of instruction		Japanese		Old group		Group A		Number of credits		2	
Number of weekly time blocks		1		Class style		Lecture (Face-to-face course)		Year/semesters		2024・First semester	
Days and periods		Fri.2		Target year		All students		Eligible students		For all majors	
[Overview and purpose of the course]											
本講義では、現代社会の政治経済を規定している根本条件について考えるために、それらがいかなる思想史的経緯からもたらされたのかを概観する。なかでも、冷戦終結以降の世界を席卷し、また、昨今行き詰まりが指摘されるようになったグローバリズム（および新自由主義）の問題が何であるかを論じながら、それらへの抵抗、対抗思想として生起している（きた）とされ、ときに「（排外主義的）ナショナリズム」と呼ばれもする保護主義や自国中心主義、移民排斥運動などをいったいどのように考えればよいのかということが中心的な論点となる。具体的には、今日の経済社会の課題について20世紀初頭の問題状況を参考にしながら論じ、そのうえで、冷戦終結のあと経済のグローバル化が進展するにともなって理論化が進んだ規範理論としてのナショナリズム（リベラル・ナショナリズム）がグローバリズムといかなる関係にあるのか、また、ナショナリズムがいかなるメカニズムで生成するのかを考え、近代的ナショナリズムの生成と歴史、およびその現代的変奏とその意味を明らかにし、今日の経済社会が抱える本質的問題について考えていくことにする。											
[Course objectives]											
1 グローバリズム、ナショナリズム、資本主義などの現代の経済社会を考察するのに不可欠な基本概念について、その歴史と思想の把握から、基本的な説明をすることができる。 2 今日の経済社会の重要な論点は何であるかを講義で解説した知識を用いて自ら見だし、それについて考察することができる。											
[Course schedule and contents]											
本講義では、以下の各論点につき1～3回の講義をおこなう予定である。ただし、ときどきの「状況」についての総合的な解釈を試みながら講義を展開していく予定であるため、また、受講者の関心や理解度も考慮しながら講義を進めていく予定であるため、各論点をとりあげる順序や回数は変更する場合もある（大きな変更がある場合には、最初の講義において説明する）。											
1 グローバリズムの行き詰まり?: グローバル資本主義の機能不全について 2 排外主義的ナショナリズムの活況: 保護主義、格差是正、移民排斥をどう考えるか 3 「グローバル経済」と「主権的な国民国家」、その両立について 4 経済のグローバル化とナショナリズムの関係: リベラリズムとナショナリズム 5 近代ナショナリズムの生成と進展: 資本主義との関係から 6 市場経済の発展が惹起したもの: 20世紀初頭の問題状況、新自由主義とその批判 7 「倫理としてのナショナリズム」を考える											
以上に加え、期末試験後にフィードバックを1回実施する。よって、授業回数はフィードバック											
Continue to 現代経済社会論Ⅰ(2)											

## 現代経済社会論Ⅰ(2)

を含め15回とする。

### [Course requirements]

None

### [Evaluation methods and policy]

学期末におこなう定期試験（80％）、および授業時間内に実施する小課題（小レポート、コメントシートなど、20％）により評価する。

### [Textbooks]

Not used

### [References, etc.]

（References, etc.）

Introduced during class

### [Study outside of class (preparation and review)]

とくに教科書は指定しないので、講義内で適宜紹介する文献を読んでみることをすすめる。

### [Other information (office hours, etc.)]

受講するにあたって特別な予備知識は必要としないが、現代経済社会の諸問題について、政治・経済思想のみならず、幅広い観点から、歴史的かつ哲学的に思考することに関心を寄せる人の履修が望ましい。